

【重要】この取り付け説明書は、普段からハーレーダビッドソンの整備に従事されているプロのメカニック向けに公開をしております。個人様での取り付けは推奨致しません。また、個人様が取り付けした場合の保障は一切致しかねますので、何卒ご了承ください。

TPP031 レバープッシュロッド LP30 取り付け説明書 (2017以降BT)

TPP製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。レバープッシュロッドは2017年以降の油圧式マスターシリンダー内のプッシュロッドを短いものにしてクラッチのストロークを短くしてクラッチレバーを握っている時の重さを軽減します。(ノーマルストローク約2.7mm LP30約2.0mm クラッチレバー保持：ノーマル約4.8kg LP30 約4.2kg) またVPクラッチを取り付けるとクラッチの繋がる位置が遠くなりますが、LP30と併用するとクラッチの繋がる位置が近くなり操作しやすくなり、且つよりクラッチレバーが軽くなります。(保持：VPC 約3.2kg +LP30 約2.8kg)

1：スナップリングを外しクラッチレバーを取り外します。

2：3/8のボルト等と5/8ソケット等を利用してノーマルのプッシュを取り外します。

図1

図2

図3



図4

図5



3：キット内のプッシュを取り付けます。(図2) 万力等で軽く圧入出来ます。圧入する方向を間違えないよう注意してください。

4：ノーマルのレバープッシュロッドを引っ張って外し、同じようにLP30を取り付けます。ダストラバーを破かないよう注意しながらLP30の溝にノーマルと同じ様に被せます。

5：ガタつき防止のアンチラトルスプリングをレバーの下側に付けてマスターシリンダーに装着します。レバー及びアンチラトルスプリングの穴を合わせてピンを入れます。

レバーを握ってアンチラトルスプリングが見える事を確認後スナップリングを取り付けます。

完了です。(図3) (トライクモデルは図5の様に先端をカットします。)

注意：ミラーがマスターシリンダーに付いている車両はミラーのナットを10Nm以上締めすぎるとレバーが動きにくくなります。ご注意ください。他のストロークを短くするパーツ(マンババックギア、マジックシリンダー等とは併用できません。)